



塔の最上階で

花嫁を待ち受け  
馬はちよつと

強引ぞ





デモンズタワー

本来ならば  
生まれたばかりの  
グランバニア王の  
世継ぎを

攫ってくる  
手筈だった  
のだがなあ…

やれやれ…

ま、全く  
面目なく…

ま、まさか  
あそこで  
邪魔が入るとは…





ふー……

ドサ

まあよい……

後は私がやる  
下がってよいぞ

はっ！

ガサゴツ

グランバニア新王  
戴冠の儀式の  
妨害も失敗し……

散々だな

ズン  
ズン

城内の人間を  
引き込んでまで  
立てた計画が……

生まれただけの  
世継ぎも  
攫ってくることも  
できず……

ズン……





困った...  
ものだ...

全く実に  
困った...

ふう...

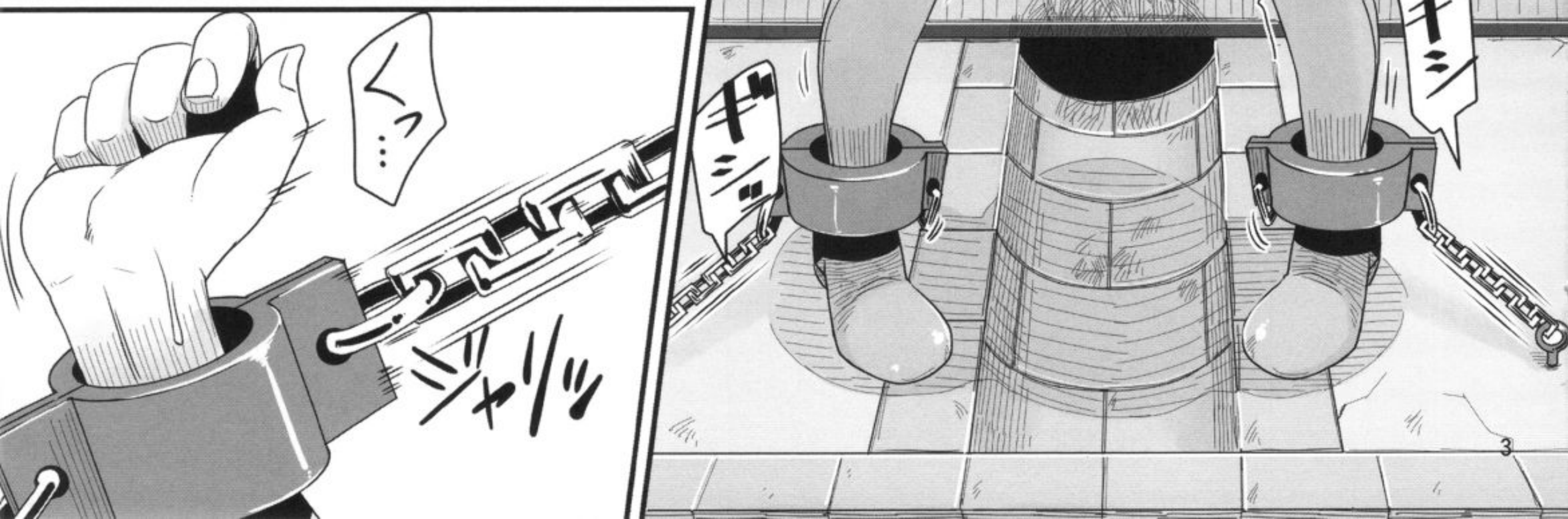


この失態...  
ゲーム全体  
に...

はあ

はあ

何と  
申し開き  
すればよいのか...



カチン





なあ

グランバニア王妃よ

こっ、  
怖い...

我が子  
可愛さとはいえ...

まさか  
王妃御自ら  
身代りになる  
とはな

母親なんだから  
子供を守るのは  
当然でしょ？

ああ  
あなた...

どうか  
私を守って...





わたし一人で  
失敗する  
計画が？

そんなモノが  
”緻密な計画”  
だなんて  
笑わせないでくれる？



我々が立てた  
緻密な計画も  
メチャクチャだ…



フハハハツ!!

悔しいが  
全く  
その通りだな!!

だが

私の顔に  
泥を塗ってくれたこと  
に関しては  
非常に腹立たしい  
のでな…

!?





お馬さんに私の魅力が理解できるのかしら？

ふふん



だからせめて…

フゥ



あんななんかに一体何が出来るって言うの笑わせるんじゃないわよ

はま

な、何…？



さっきから何かがおかしい…

ん…!!

やっぱり気のせいじゃない…!!

ジュジュ

ジュ



さっきから

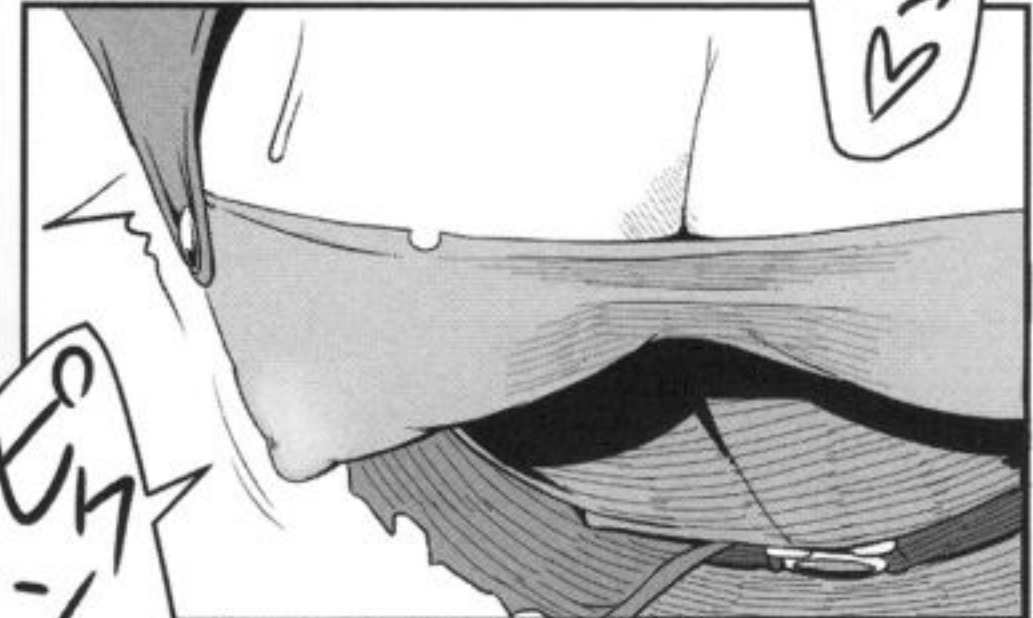
カラダが  
熱くて…

はぁ…

はぁ…

こんな  
命も危うい  
状況なのにつ…!

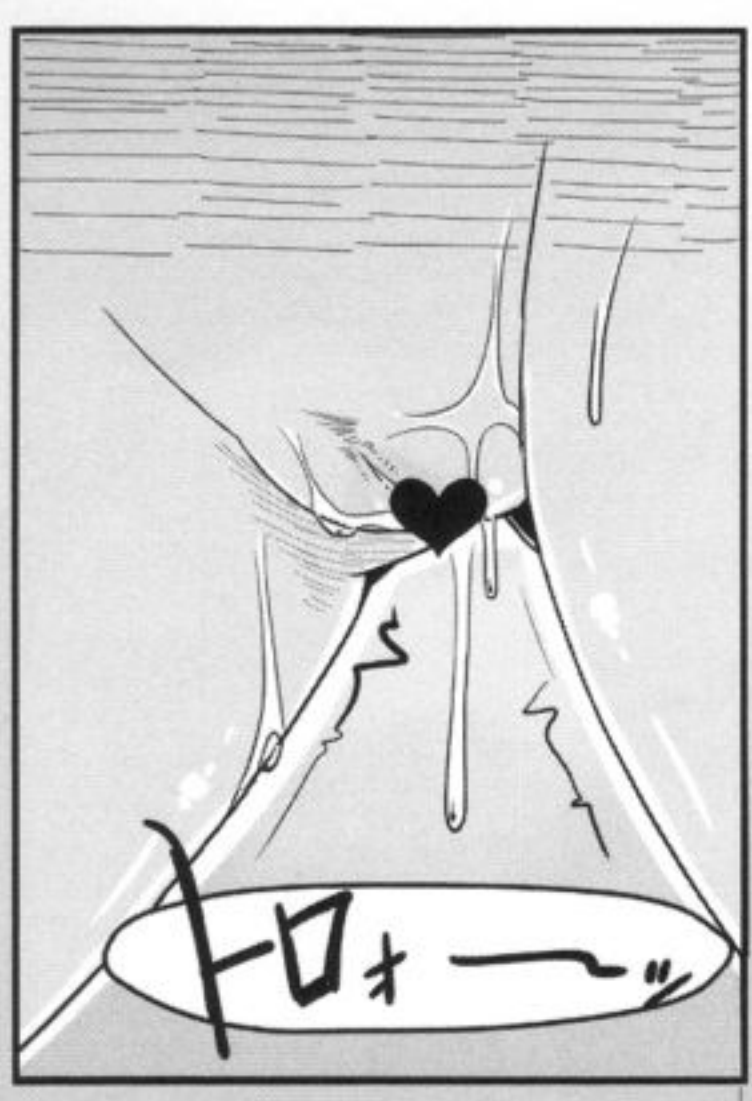
んん



ピン

クセ

なんで  
こんなに  
カラダが  
疼いて…っ!



カクカク

フフフ…

大分回ってきた  
ようだな…  
劣情を催さずには  
いられない  
実に良い  
表情だ…

わ、私に何か  
呪文をかけたわねっ!?

くっ!!

はぁ

キツ

はぁ

ニヤニヤ





眠らせている間に  
我々魔族の因子を  
お前の体にな...

なに...

なっ!?

ん...

うう...

ビーン

と、言っても  
ほんの少し  
だけだがな

カチャ

カチャ

カチャ



徐々に  
そして確実に  
お前のカラダに  
浸透していつている  
ようだな...

ただ...

ん...

わずかでも...

チユウウ

ドクドク

シッ

ん...





少しばかり  
欲望への抑制が  
弱まるだけだ  
魔族らしくな...  
ククッ

まあ死ぬような  
ことはないから  
そこは  
安心していいぞ  
ただ...



!!  
その右目と  
周りの痣が  
何よりの証拠よ



そうだな、  
再び子を  
宿せば...

ここでも  
また母親を  
できるぞ

いやあ!



「自分に正直になる」  
と言い換えても  
いいぞ  
フッ

そして  
やがては  
私の従順な  
下僕となるのだ

そっ  
そんなっ!!





パツカじゃ  
ないの!?

ぼっ...

ちよ  
何にすこぶよ!!  
カ  
カ

離せ二のバカ!!!

何なのよ  
コレ!!

フン  
よく似合うぞ  
より美しく  
なったでは  
ないか

あばれて  
ましたね

イタタ!

カッポ

カッポ

ギツ

ギツ

せつかくの  
装飾が  
ポロ布のせい  
で  
台無しだ

しかし

は??





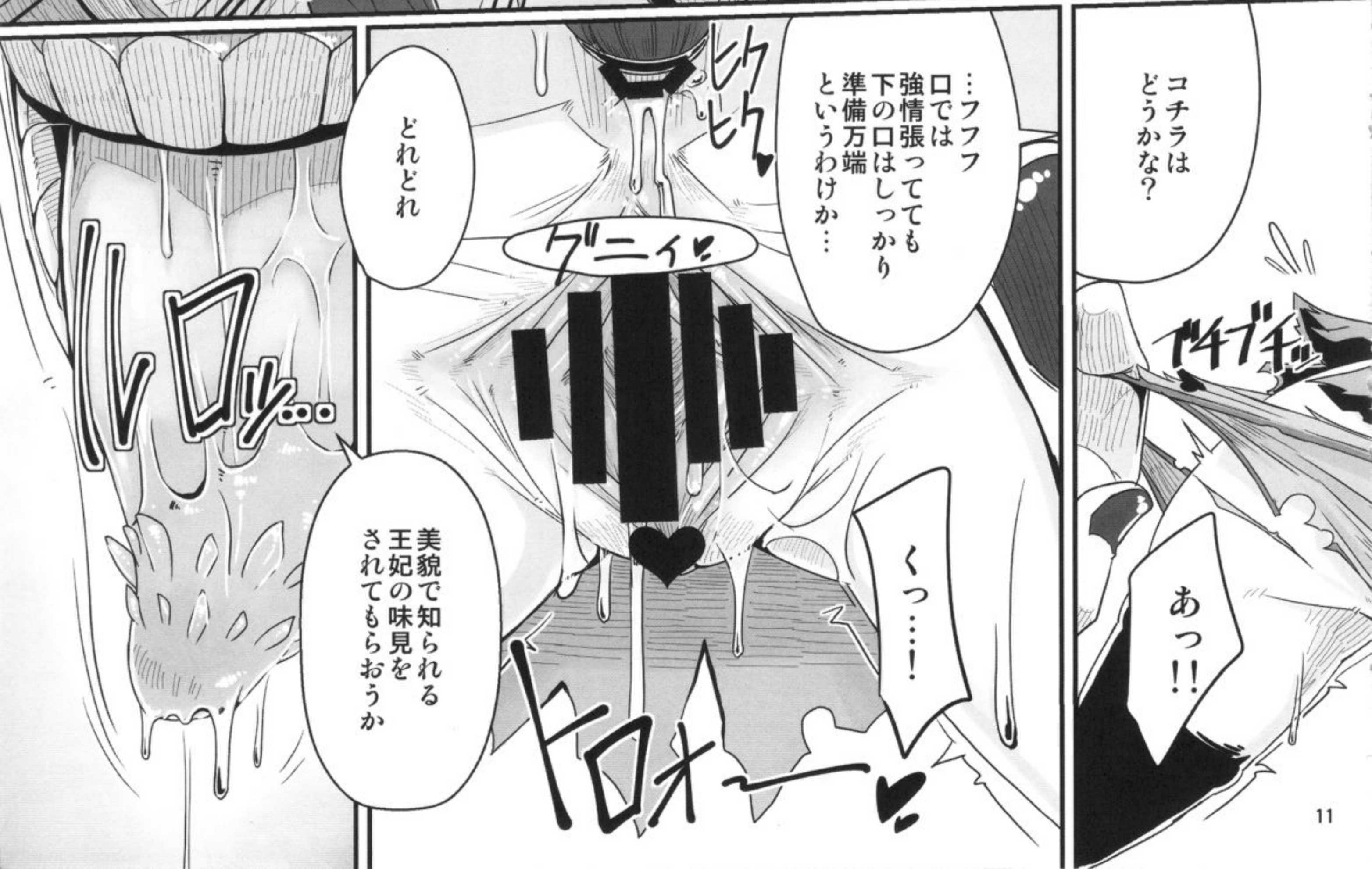
きやあっ!!

うむ  
いい眺めだ

見ないでえ!!

そう  
恥ずかしがるな

服は後でもっと  
上等なものを  
あつらえてやろう



コチラは  
どうかな?

：フフフ  
口では  
強情張ってても  
下の口はしっかり  
準備万端  
というわけか：

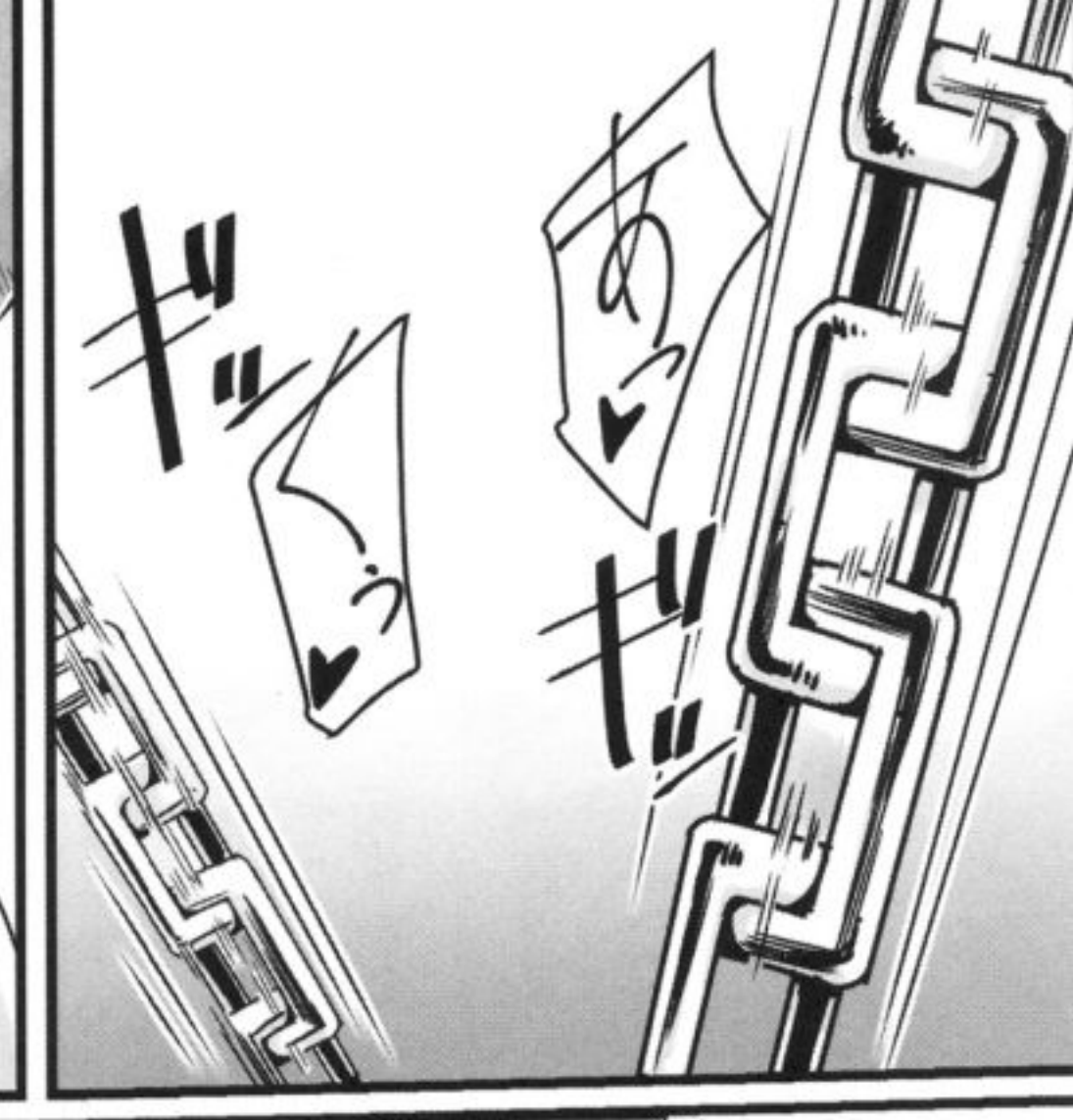
どれどれ

クニイッ

美貌で知られる  
王妃の味見を  
されてもおうか

あっ!!





やはり  
私の見立て通り  
だったな...

...

ニユルニユル



眠っている間に  
色々と  
調べさせて  
もらったが  
どうやらお前は  
ただの人間ではない  
ようだ

や、やめな  
さいっ!!

雰囲気も  
王族とは違う  
何か特別な  
そして高潔な  
ものを感じる

理由までは  
分からなかったが



体液も人間の  
嫌な臭いがなく  
この上なく美味  
実に素晴らしいぞ!!

気持ち  
良くない

全然気持ちよく  
ならない

全然...







ふ、ふざけないで  
そんなモノ  
無理に決まってる  
でしょ!!

な、なんで  
私、今ツバなんか  
飲んでるの？

赤子が通る道だ  
コレくらい  
訳なからう

や、  
やだっ!!

こ、  
こわれるっ!!

因子のおかげで  
痛みも快感に  
変わる  
なに、初めは  
少々苦しからうが…

無理無理  
無理!!

ガガガ…

じきに  
慣れるに  
!!!

死んじやうっ!  
お願い許しっ…

ひひひっ





ふん  
ふん  
あんまりにも  
細すぎるから

ナ、ナカに入ってる  
なんて全っ然  
分からなかったわ…



気に入って  
もらえたかな?

どうだ?



ダメツ  
いやっ!!

あ、  
いやっ…

では  
遠慮はいらないな

いくぞっ!!





グフフ：  
隅々まで  
挟られて  
たまらんだらう？

あゝ

あゝ  
あゝ  
あゝ

お、奥がっ  
奥がっ...!!

くっ、苦しいっ  
めくれるっ  
カラダの中が  
めくれちゃうっ!!

ん？  
泣くほど  
気持ちが良いのか  
ならばもつと激しく  
動いてやるか

だっ...  
誰がそんなことっ

な、中で  
引つかかって...

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ

ん  
ん  
ん

ゴッ  
ゴッ

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ

がッ  
がッ  
がッ





気に入ったぞ  
ピアンカ



うーむ...



ちよっ...  
人の話を...



はっ♡

はっ♡

実に素晴らしい  
肉体だ!  
教団本部へは  
送らず

我が手元に置いて  
たっぷりと  
可愛がってやろうぞ

なっ...

早速褒美だ  
我が精をお前の中に  
くれてやろう

しかと  
受け止めろっ!!



ひっ...

なっ  
だめ!!

何を  
勝手なことをっ!!



びっ♡











かか







アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ

大きにも  
慣れて

大分良く  
なってきただろう？

たぶんっ

たぶんっ

ククク…  
どうだ？

んふーっ

んふーっ

んふーっ

アッ

アッ

アッ

アッ









ふんっ…

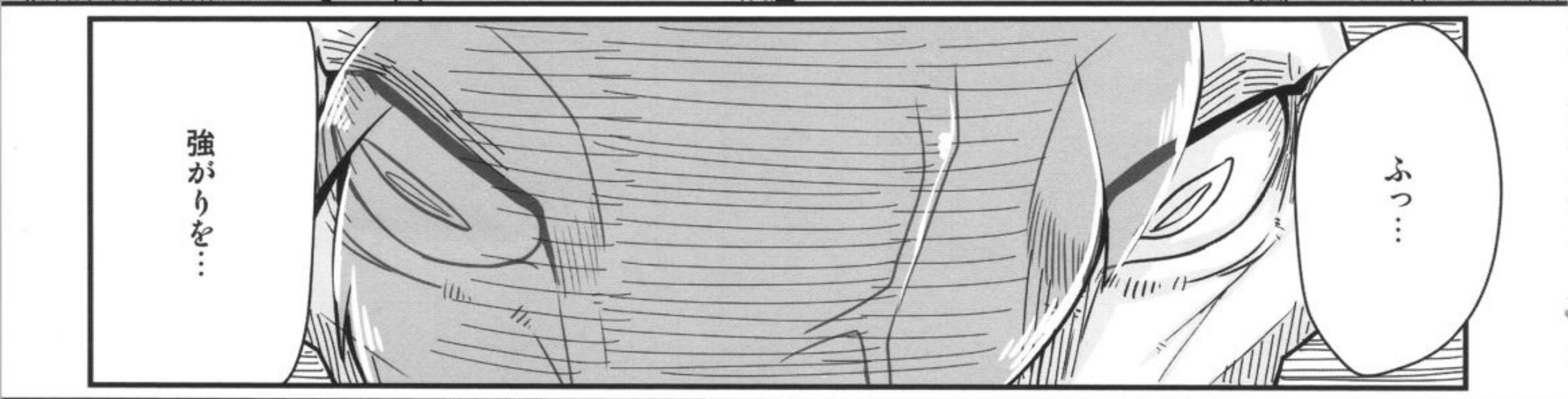
何言ってるんだか

はーっ

はーっ

笑わせないでよ

ア、アンタみたいなのが  
化け物相手で  
どうやって  
ヨがれってのよ？



ふっ…

強がりを…



説得力は  
ないがなっ!!

下回唱



しかし…

あああ

はーっ

下回唱





キヤツ!!

ククツツ...

強情張ってる割に  
さつきから  
顔が緩みっぱなし  
だぞ?

それに  
自分から  
腰を振りおって

もうコレが  
気に入ったか?

んん?

っ!!  
そ、  
そんなこと  
ないってのっ!!



あっ  
カ、カラダが  
勝手に反応して...

くう

このイボが...

んっ

ナカを  
ゴリゴリ擦って  
な、何にも  
考えられなく  
なっちゃう!!





どうだ?

お前の夫の  
貧相なモノとは  
比べ物にならないだろうか?

ギョッ

アアアア

アッ  
キョ  
キョ

アッ  
キョ  
キョ

アッ  
キョ  
キョ

アッ  
キョ

ん?



……っ!

結構  
結構!!

ふはは

アッ  
♡

アッ  
♡

アッ  
♡

アッ  
♡









お前の都合など関係ないっ！



だっ...

誰がアంతアなんかとっ!!



お前に断る権利など最初からないわ!!



この私が決めたことなのだ





従順な  
妻と  
なるのだ

私を  
悦ばせることを  
何よりも  
至上とし…  
全身全霊を  
かけ  
奉仕する…



化け物の  
花嫁になんか  
なりたくないッ!!

嫌い!!





よし、これが最後だ

我が子種しつかりと受け止める！

や、やだっ！イキたくないっ！！

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

子供できちやうっ！

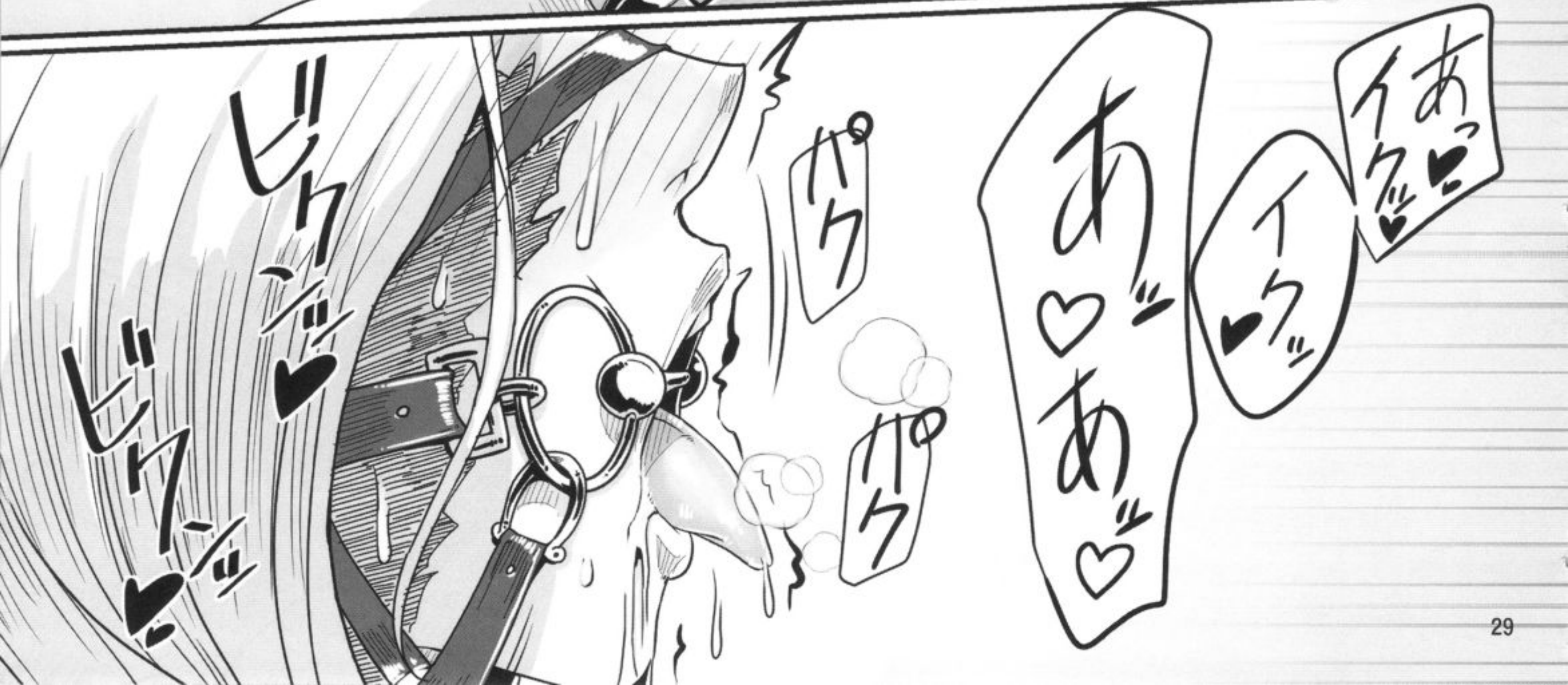
あーあー！！

はっ♡

はっ♡

はっ♡

ククク



あ♡♡♡

あ♡♡♡

あ♡♡♡

ハク

ハク

ビクビク

ビクビク







んっ…

ガガガ

フフフ  
久々に  
楽しませて  
もらったぞ…

…返事も  
できぬか…

なあに

今に一刻たりとも  
離れられなくなるほど  
夢中になるさ…

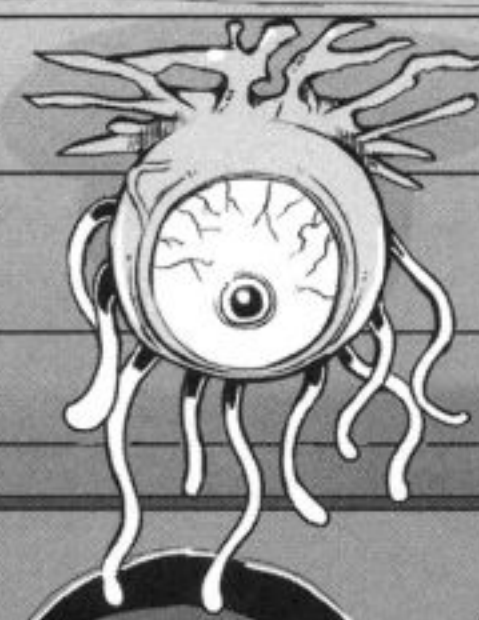
又志

ドク

オホ



侵入者？



人間と…

モンスターの  
混成パーティーだと？

そうか  
そうか…

奴め…  
やつとここを  
探し当てたか…

クク…

分かった

階下の者共に  
迎撃するよう  
伝えよ…

ジポロ

ん…

ん…

ん…

塔内のトラップも  
全て作動  
させておけ

聞いたか？

まったく…

あむ

ワロホ

はろ

ここへ  
辿り着くまでに  
半年もかかる  
とは…









早く  
ここまで  
上って来い...

フフフ...

千和♡

はぁ♡

千和♡

はぁ♡

千和♡

千和  
下さい♡

実に  
楽しみだ!  
  
クハハハ!!

変わり果てた  
妻の姿を見て  
奴が  
どんな顔をするのか...





お買上げ  
ありがとうございます

ございました。



みきのう





- 塔の最上階で花嫁を待ちうける馬は  
ちよつと手強いぞ・改
- 2017年8月13日
- A・S・Gグループ  
(アジショウゴングループ)
- みそのう  
fzd04122@nifty.ne.jp
- 印刷会社：Print Walk



A・S・Gグループ